

# 人・政治・地球

本紙にこのコラムの連載を始めてから2年経った。次号が最終回になる。この間、多くの方々にお世話になった。深く感謝します。

この機会に政治評論を専門とする私が「水」に取り組んだ理由を明らかにしておきたい。

なぜ私が「水」に取り組んだか。3つある。

第一は、「水」の仕事を天命にしている専門家の「一隅を照らす」姿勢と純粋な社会奉仕の生き方に圧倒され、少しでもこれら上下水道関係者の役に立ちたいと考えたからだ。私が「水」の師と仰いだ人は無数である。

以下、紙幅の関係で主な方のみ列挙することを御許しいただきたい。沖繩の金城義信さん、グロバルウォーター・ジャパン代表の吉村和就さ

ん、東京都朝霞浄水場の増子敦所長(当時)、岡山市水道事業管理者の植松建さん、日本下水道協会理事長の安中徳二さん、国土交通省下水道部長の江藤隆さん、東京都

きてきたという自負を私も持っている。だが、水の専門家の真面目さにはかなわない。2年間水関係者につき合っ、私

少し熱心にやらないと悔いを千載に残すことにならないう強い危惧があったからである。

「備えあれば憂いなし」——下水道管にも下水道管にも耐用年数がある。多くの管を交換しなければならぬ時がきてい

第三の理由は、地球の危機、自然環境の危機を強く意識したからである。資本主義の発達は地球上に多くの富をつくり出した反面で人間のモラルを後退させた。多くの

## 水の時代を生きる

政治評論家 森田 実

水道局長の御園良彦さん、東京都下水道局長の前田正博さん、本紙編集長の大津孝雄さん。

によって支えられてきたのである。

上下水道に私が一生懸命に取り組んだ第二の理由

は、いまの日本の政治は、上下水道を軽視して

このまま放置することはできない。座して死を待つようなことをしてはいけない。全世界が協力して地球環境を守るために、世界の水を守るために

人の寝食を忘れた日常の努力によって、日本の上下水道と下水道

が維持されて

社会は混乱し、経済は低迷する。財政再建どころ

の行動原理は「金儲け」

である。彼らは金儲けのためならどんなことでもする。政府に戦争させることも厭わない。次代の人々に残すべき地球の自然環境をも平然と破壊する。

### 上下水道に私が

### 強い関心をもった理由

真面目に生

できたのである。